

委員会レポート 一視察報告一

高浜市
 公共施設の更新事業は喫緊の課題であり、身の丈に合った複合形態を模索するために高浜市地域交流施設（複合施設たかぴあ）を視察した。

たかぴあは、小学校を含んだ複合施設で、学び・文化・スポーツや子育てを地域ぐるみで支えていくために、子どもからお年寄りまでの幅広い世代が集う場所である。また、災害時には避難場所となる。

東浦町に適した複合化を



どの施設と複合するのか、どのような施設にするのかは、地域の方とのつながりを考えると、この組み合わせ（小学校・児童センター・公民館）は、最適なもののひとつであると認識した。施設更新にあたり、事業手法も、PFI方式を選択し、事業団体を構成し、維持管理に関しても、令和16年3月末日までの事業期間に含めていこうとする。参考にすべきだ。



県外視察

文教厚生委員会

兵庫県加西市
 子育て支援の先進地で、本町の施策の参考とするため視察した。加西市は、少子高齢化という市の課題を打開するために5つの無料化（保育・給食・医療費・オムツ等・病児病後児保育）を推進していた。その背景には、兵庫県内第1位のふるさと納税による財源があることが理解できた。他に屋内遊戯型施設&テレワークセンターも見学でき、有効であった。

大阪府泉大津市
 文部科学省の「休日の部活動の段階的な地域移行」の取り組みのため、スポーツ庁のモデル事業を実施している泉大津市を視察した。まずはスポーツ青少年課のみでアプローチしていることが理解できた。レクリエーションスポーツ・ダンス等の種目を取り入れたり、大阪体育大学と連携した「グッドコーチ」の活用等の取り組みが参考になった。

先進地視察を参考にした施策の推進を

ようこそ東浦町へ！
 4つの議会が視察来庁

議長および副議長が歓迎あいさつを行い、議会広報特別委員、緒川小学校の方々、ふくし課職員が丁寧に説明を行いました。



11/19 防災訓練に参加しました！

石浜西小学校で開催された大地震を想定した防災訓練では、乳児の心肺蘇生や消火、災害時トイレ処理等実践的な対応を学びました。発災時に適切な行動がとれるよう今後も技能習得に努めてまいります。

議会トピックス

GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない！
 議会の動き

3 常任委員会と議会広報特別委員会の4委員会で県内・県外行政視察を実施しました。



県外視察 **経済建設委員会**



住民課窓口の混雑解消とコミュニティ交通

来庁者および役場職員
の負担軽減を目的とし、
埼玉県草加市の「そごうかす
マート窓口」について視察。
また、「地域のニーズ
に対応したコミュニティ
交通の運行」として、自
治体が直接運営している
バスのほかに、より細か
な地域のニーズに応える
ため、地域住民や民間会
社がバスを運行する茨城
県土浦市を視察。

入費の約8割を国からの
補助金を利用。住民側の
メリットはつかげえるが
職員負担軽減は感じら
れなかった。

茨城県土浦市
市がバス運行する以前
にNPOが「キララちゃん
バス」を、土浦地区タク
シー協同組合が「のりあ
いタクシー土浦」を運行。
中心市街地の移動、公共
交通不便地域の移動、高
齢者の移動といった住み
分けが一定の条件の下で
計画され、運行されていた。



県外視察 **議会広報特別委員会**



見て分かる議会だよりを目指して

京都府乙訓郡大山崎町
読者の目を引くわかり
やすい企画をテーマに視
察した。紙面の「軽さ」を
意識した編集や文字の画
像化等の「読まなくても
いい」工夫があった。ま
た賛否の分かれた議案の
論点を簡潔に示し、賛
成・反対の意見をコンパ
クトにまとめてあり、わ
かりやすいつと感じた。
**和歌山県伊都郡
かつらぎ町**
住民の関心や質問に答
える形でわかりやすい説

明をテーマに視察した。
編集では、基本原則「積
極的かつリアルにわかり
やすく議会を公開する」
「住民こそ主役の立場で
編集する」等を掲げ、毎
号住民の取材やレイアウ
トの検討をする等、熱量
が感じられた。
どちらも全国町村議会
広報コンクール奨励賞を
受賞しており、今回学ん
だ住民目線の編集を参考
に見て分かる議会だより
を追求したい。

11/8 石川県かほく市議会
④ 視察内容 議会だより編集



11/7 新潟県妙高市議会
④ 視察内容 東浦町認知症にや
さしいまちづくり推進条例



10/26 長野県議会
④ 視察内容 個別化・個性化
教育(緒川小学校)



9/28 福岡県遠賀郡芦屋町議会
④ 視察内容 議会だより編集

